

にこにこ舎 あき

社会福祉法人
にこにこ福祉会

施設要綱

私たちにもできる 可能な限りの社会参加を求めて



にこにこ福祉会の理念 ● ● ● ● ●

先人達が福祉のもとに
たゆまぬ努力を重ねてこられたにも関わらず、
今日障がい者を取り巻く環境は
まだまだ満たされているものではありません。

私たちは先人達の思いを受けて、
更なる努力が必要となります。

にこにこ福祉会は、
その前身である無認可作業所よりこの地域において、
障がい者の「働く場」を創造し、
経済的自立を目指してきました。

障がいがあっても地域の中で当たり前暮らし社会。
それが実現するためには、何が必要か。
生活する場があり、働く場（活動する場）があり、
支援する人がいる。
それがごく自然に集まれば
当たり前暮らし地域になります。

そして、なによりも
本人がよかったと思える生活であれば
満たされた人生になるでしょう。

それが本人の思い、親の願い、法人の願いです。

法人の前身である無認可作業所時代より、障がい者の働く場にこだわってきました。「障がいがあるとどうして働けないのだろう。」「障がいがあるとどうして同じ作業しかできないのだろう。」

素朴な疑問から1997年に、にこにこ福祉会は生まれ、試行錯誤しながら私たちは、ずっと働く事にこだわってきました。その結果、本人たちが作る商品は、市場で流通する人気商品になっており、賃金は働きに見合ったものを支給することができています。障がいがあるがゆえの働きにくさはあるものの、作業の細分化、指示書の提示など支援者がその都度支援をする事で本人の力を引き出しています。中には、自分は働けるのだろうかと思う人も、職員の支援の元、経験を重ねて職人となる人もいます。また一般企業へ巣立つ人もいました。

「自分達が働いて得たお金で生活をする。」一般社会では当たり前のことです。障がいがあるためその当たり前のことさえ大きなハードルがあります。その当たり前が、働くことでいつでも一般の方と同じように手にする。これが、にこにこ福祉会の目指すものです。

私たちは障がいを持つ方が働くことで地域の中で、より豊かに生活できるよう切に願うものです。



にこにこ福祉会
代表理事 瀬良 京子

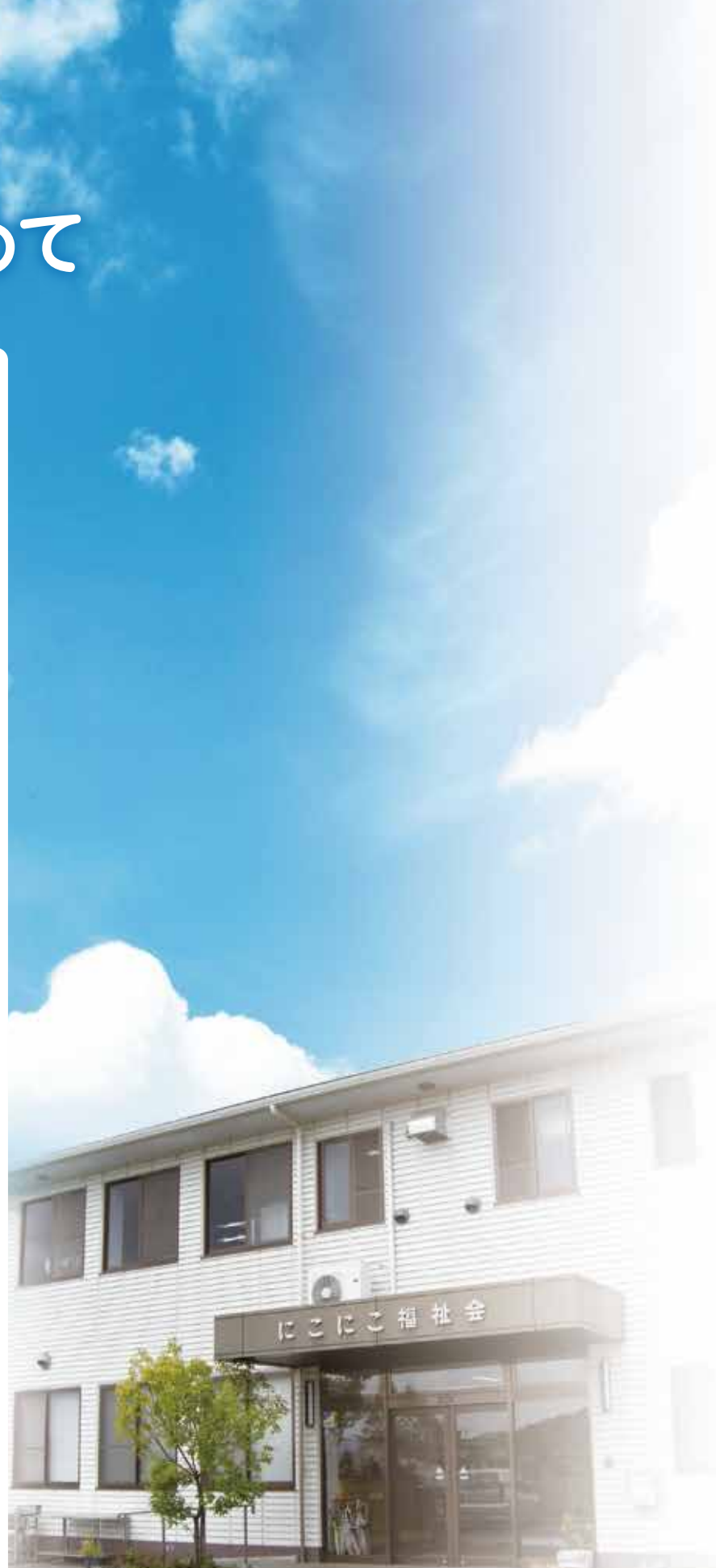
利用する方の思いや障がいの程度は一人一人違います。しかしながら、施設の開設以来、私たちは「障がいを持っていても働きたい」という皆様の根っこの思いを大事にしてきました。

「あなたにしかこの作業はできないのよ」、「あなたが居てくれないと困るのよ」…このような評価をもらった時には、何物にも変え難い喜びがあります。ここはそんな喜びを見出せる場所でありたいと考えています。どんな方でも人は集団から価値のある存在と認められ、尊重される欲求を持っています。

私たちは、その欲求を大切にし労働を通して常に認め合える、そして尊厳を尊重し合える、そのような施設づくりをめざしています。



りひと・共同生活ほいーる
管理者 松岡 建興



私たちにもできる 可能な限りの社会参加を求めて

法人の前身である無認可作業所時代より、障がい者の働く場にこだわってきました。「障がいがあるとどうして働けないのだろう。」「障がいがあるとどうして同じ作業しかできないのだろう。」

素朴な疑問から1997年に、にこにこ福祉会は生まれ、試行錯誤しながら私達は、ずっと働く事にこだわってきました。その結果、本人たちが作る商品は、市場で流通する人気商品になっており、賃金は働きに見合ったものを支給することができます。障がいがあるがゆえの動きにくさはあるものの、作業の細分化、指示書の提示など支援者がその都度支援をする事で本人の力を引き出せています。中には、自分は働けるのだろうかと思う人も、職員の支援の元、経験を重ねて職人となる人もいます。また一般企業へ巣立つ人もいました。

「自分達が働いて得たお金で生活をする。」一般社会では当たり前のことです。障がいがあるためその当たり前なことさえ大きなハードルがあります。その当たり前が、働くことでいつでも一般の方と同じように手にする。これが、にこにこ福祉会の目指すものです。

私たちは障がいを持つ方が働くことで地域の中で、より豊かに生活できるよう切に願うものです。



にこにこ福祉会
代表理事 瀬良 京子

利用する方の思いや障がいの程度はお一人お一人違います。しかしながら、施設の開設以来、私たちは「障がいを持っていても働きたい」という皆様の根っこの思いを大事にしてきました。

「あなたにしかこの作業はできないのよ」、「あなたが居てくれないと困るのよ」…このような評価をもらった時には、何物にも変え難い喜びがあります。ここはそんな喜びを見出せる場所でありたいと考えています。どんな方でも人は集団から価値のある存在と認められ、尊重される欲求を持っています。

私たちは、その欲求を大切に労働を通して常に認め合える、そして尊厳を尊重し合える、そのような施設づくりをめざしています。



りひと・共同生活ほいーる
管理者 松岡 建興

にこにこ会

働く喜びが実感できる、そんな場所です。

「ONE for ALL、
ALL for ONE!」を

モットーに個人の適正に応じた
サポート体制で運営しています。

就労継続支援 A 型事業

[20名]

内容

・食品加工、縫製等の職業の提供
コロッケ・焼肉のたれ・手織り縫製

給与形態

・時間給 広島県の最低賃金からの支給
・社会保険、雇用保険への加入
・通勤手当有

(利用希望の方はハローワークまたは、にこにこ福祉会までご相談ください)

りひと

働きたいと願う利用者の思いを尊重し、1人ひとりの障がい特性に応じた作業の提供を心がけています。作業は企業や地域の方々と共同で取り組み、地元根付いた農作物の栽培を行っています。

就労継続支援 B 型事業

[20名]

内容

・主に就労を中心とした福祉サービスを提供
(米、野菜づくり、牛ふん堆肥の袋詰め、企業の清掃作業等)
・社会参加活動を取り入れ、
社会のルールを身につける

給与形態

・月額 約 18,000～50,000円
※月額平均 36,894円(令和5年度実績)

にこてらす

日常生活支援と自分の持つ力を充分に発揮できるよう、1人ひとりにあった専門的なアプローチを提供しています。活動を通して、「できた」という体験を大事にしながらひととしての成長・自立へつなげています。

生活介護事業

[20名]

内容

・1人ひとりにあった“活やくする場”を提供
その対価として工賃を支給
・調理の体験、創作・音楽活動、社会参加、
様々な体験の提供
※障がい程度区分3・4・5・6の方が利用できます。
・送迎、昼食実施

給与形態

・労働の対価として工賃を支給
※工賃額は当施設評価基準に基づき支給

共同生活ほいーる

共同生活ほいーるは、
どのような障がいがあっても
地域の中で当たり前の生活を
支える場所です。

共同生活援助事業

[37名]

内容

・各ホーム完全個室(鍵付き)でプライバシーを確保
・15:00～翌朝9:00まで支援者が常駐
・居住毎に深夜の見守りを行う
・休日、余暇支援も充実(花見、BBQ、外食、誕生日会等)

入居費用

・家賃 30,000～32,000円 ※特定障がい者特別給付を利用して
・食費 650円/日(朝食200円、夕食450円)
・共益費 実費(共同備品購入、光熱費等)
●部屋に空きがあればなたでも入居可能です。

相談支援センター つぎ・か

相談支援センター つぎ・かは、
その人に最適なライフステージ
と一緒に考えます。

指定特定計画相談事業

障がい福祉サービスの利用を希望する利用者に、自立した日常生活または、社会参加を営むことができるよう「サービス等利用計画書」を作成いたします。

にこにこ会で「働く」

「分量の計測」や「均等に分ける」等の基本的な加工行程を通じて、規則正しい作業の習得を目指しています。また、1つひとつの完成度についてより高い成果を求める姿勢で、取り組んでいます。



りひとで「作る」

太陽のひかりの下、体を使った作業が中心です。
仕事を行う中で「やりがい」や「達成感」を感じて働いています。
自分たちの作った作物や製品には自信をもっています。



にこてらすで「体験する」

個々の能力や素質に合わせた、様々な活動から得られる体験によって、1人ひとりに添った成長、そして自立を目指しています。



ほいーるで「暮らす」

プライバシーや入居者の安全などは徹底する一方で、同じ屋根の下で生活するご縁を大切にしたいイベントも実施しています。



私たち、にこにこ福祉会が手がけた成果物の出来栄を、ぜひ手にとってお確かめください！

【コロッケ】【焼肉のたれ】【堆肥】は、
福山市内のなかやま牧場ハート各店で
販売しております。
【織物(さわり)】【自家栽培の農作物】は、
右記までお気軽にお問い合わせください。

電話 084-960-2020 | 8:15～17:00(土・日・祝日を除く) | 受付:有永(ありなが)
メール niko.niko@joy.ocn.ne.jp
WEB http://www.nikonikofukushikai.com

ご紹介した商品以外に
多数ございます。
詳しくはホームページを
ご覧ください。



にこにこ福祉会 検索



にこにこ福祉会【組織表】

理事				
瀬良京子 (代表理事)	高橋 実	山田 敏明	瀬良 隆之	中山 玲子
				松岡 建興

評議員					
西本 千恵美	奥野 等	亀澤 浩一	山田 敏弘	堀田 琢哉	足利 由希子
					加藤 陽一郎

監事	
高橋 正倫	林 誠

〈初代理事長〉
中山 伯男
なかやま ほうお
〔就任期間〕
1997～2011年



にこにこ福祉会【法人本部】

にこにこ会 [20名]

- ・就労継続支援A型事業

住所：〒720-2103
広島県福山市神辺町字西中条 1099-4
TEL：084-960-2020 FAX：084-960-2025
e-mail：niko.niko@joy.ocn.ne.jp
8：30～16：00（土・日・祝日を除く）

にこにこ会 のあゆみ

1998年（平成10年）7月
・一般就労雇用形態の知的障がい福祉工場
「にこにこ工場」を開設
2007年（平成19年）4月
・就労継続支援A型／就労移行支援事業へ制度移行
「にこにこ工場 → にこにこ会」へ改名

施設名に込めた想い

いつもみんなが「にこにこ」としていたい。
そんな願いを込めて名づけました。



りひと [20名]

- ・就労継続支援B型事業

住所：〒720-2103
広島県福山市神辺町字西中条 2290-1
TEL：084-960-2019 FAX：084-967-0680
e-mail：rihito2019r11@snow.ocn.ne.jp
8：45～15：45（土・日・祝日を除く）

りひと のあゆみ

2019年（平成31年）4月 開設

施設名に込めた想い

ドイツ語で「ひかり」という意味を持っています。
1人ひとりのキラッと光る部分を活かした、
楽しく働く場所の提供をします。



にこてらす [20名]

- ・生活介護事業

住所：〒720-2103
広島県福山市神辺町字西中条 2313-1
TEL：084-960-2230 FAX：084-960-2232
e-mail：nikoterasu@shirt.ocn.ne.jp
9：00～16：00（土・日・祝日を除く）

にこてらす のあゆみ

2002年（平成14年）3月
・知的障がい者通所授産
2012年（平成24年）4月
・就労継続支援B型／生活介護事業へ制度移行
「にこにこ作業所 → にこてらす」へ改名
2019年（平成31年）4月
・「生活介護事業10名 → 20名」へ定員変更

施設名に込めた想い

にこにこ福祉会に携わる全ての方の人生が、照らされたものであって欲しいとの想いで名づけました。



共同生活ほいーる [37名]

- ・共同生活援助事業

住所：〒720-2122 広島県福山市神辺町
大字新湯野 64-9
TEL：084-967-5255
e-mail：kyoudouwheel@outlook.jp
（福山市神辺町にて）

来いこいハウス [6名] かねしろ荘 [5名]
とのまちハウス [10名] みなみの荘 [6名]
さざん荘 [5名] ながえ館 [5名]

共同生活ほいーる のあゆみ

2005年（平成17年）10月
・地域生活援助事業開設
2006年（平成18年）10月
・共同生活介護・援助事業へ制度移行
「来いこいハウス → 共同生活ほいーる」へ改名

施設名に込めた想い

「ほいーる＝輪」地域と当会、どのような人とも
輪になってつながっているとの想いで名づけました。



相談支援センター つ・き・か

- ・指定特定計画相談事業

住所：にこにこ福祉会【法人本部】内併設
TEL：084-960-2021
FAX/e-mail：にこにこ福祉会【法人本部】と兼用
8：15～17：00（土・日・祝日を除く）

相談支援センター つ・き・か のあゆみ

2014年（平成26年）5月
・指定特定計画相談事業所開設

施設名に込めた想い

「つ・き・か」は「つ」伝え「き」聞き「か」形に
するという相談支援の基本を大切にしよう
という想いで名づけました。